

【令和4年度一般会計6月補正予算（第1号）の内容】

コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策に関する予算 7億1,845万円

新型コロナウイルス感染症対策

7億1,845万円

I 市民生活を支援

7億1,845万円

- ・住民税非課税世帯等に対する1世帯当たり10万円の支給
- ・低所得の子育て世帯に対する特別給付金の支給
- ・住居を喪失した人等に対する給付金の支給

財 源

7億1,845万円

国庫支出金

7億1,655万円

繰入金

190万円

I 市民生活を支援

〈新型コロナウイルス感染症対策〉

住民税非課税世帯等に対する1世帯あたり10万円の支給

～住民税非課税世帯等に対する
臨時特別給付金給付事業費・事務費～

事業費：4億3,680万円 財源：国10/10



新型コロナウイルス感染症による影響の長期化を受けて、国の制度改革がなされたことに伴い、住民税非課税世帯等に対して10万円を給付する。

○支給対象（下線は今回の制度改革部分）

令和3年12月10日において市町村の住民基本台帳に記録されており、①または②に該当する世帯の世帯主

- ① 令和3年度分または令和4年度分の市町村民税均等割が非課税である世帯
- ② 令和4年1月以降の家計急変世帯

※既に現行の制度による給付を受けた世帯等は対象外

○事業費内訳及び支給対象世帯の見込み

- ・ 給付事業費 4億円（4,000世帯（令和4年度に新たに非課税となる世帯数の見込み））
- ・ 給付事務費 3,680万円

○支給スケジュール

- 令和4年7月 確認書等の送付
- 令和4年7～8月 随時支給開始

I 市民生活を支援

〈新型コロナウイルス感染症対策〉

低所得の子育て世帯に対する特別給付金の支給

～子育て世帯生活支援特別給付金
(ひとり親世帯分) 事業費 ほか4事業～



事業費：2億8,007万円
財 源：国10/10+市単独

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給する。

○支給対象

18歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある児童（障がい児の場合は20歳未満）がいる世帯のうち、①又は②に該当する世帯

- ① 低所得のひとり親世帯・・・令和4年4月分児童扶養手当受給者等
- ② その他低所得の子育て世帯・・・①以外の令和4年度住民税均等割非課税の子育て世帯等

※②のうち、国の制度対象とならない令和5年3月1日～4月1日に出生した児童を養育する世帯（令和5年4月分児童手当受給資格者等）は、市単独事業として支給（繰越明許費設定）

○支給額

児童一人当たり 一律5万円（支給見込児童数：5,220人）

○支給スケジュール

令和4年6月中 令和4年4月分児童扶養手当受給者（申請不要）へ支給
令和4年7月以降 上記以外（一部申請不要）への支給開始



（子育て部子育て支援課）

I 市民生活を支援

〈新型コロナウイルス感染症対策〉

住居を喪失した人等に対する給付金の支給

～住居確保給付金事業費（生活困窮者自立支援事業費）～

事業費：158万円 財源：国3/4



現在実施している住居確保給付金の特例措置の対象期間を、8月末まで延長する。

○支給対象

離職等により経済的に困窮し、住居を喪失又は喪失するおそれがある人に、一定期間家賃相当額を支給する。なお、就職による収入増等があれば支給中止となる。

○特例措置

コロナの影響により就職先の休業等で、離職や廃業と同等の状況にある人についても、熱心に求職活動を行う等の要件を満たす場合に1回（3か月）に限り再支給が可能。

○支給額

世帯人数に応じ、3か月で最大15万9千円を支給。家賃と住宅扶助の額のいずれか低い額を限度額とする。

【支給月額】 単身：3万4千円、2人世帯：4万1千円、3～5人世帯：4万4千円、6人世帯：4万8千円、7人以上：5万3千円

○対象期間

（変更前）令和4年6月末終了



（変更後）**令和4年8月末終了**

【令和4年度一般会計6月補正予算（第2号）の内容】

新型コロナウイルス感染症対策に要する予算、
その他の政策的事業に要する予算

15億2,295万円

新型コロナウイルス感染症対策

14億5,827万円

I 感染症の拡大防止と医療体制の整備 14億5,127万円

- ・PCR等検査費の追加
- ・松江保健所の体制強化
- ・新型コロナウイルスワクチンの追加（4回目）
接種に向けた体制整備

II 地域の伝統文化や文化芸術を守り・ 伝える 700万円

- ・伝統文化芸術イベントの映像配信

その他の政策的事業

6,468万円

III つながりづくり 2,658万円

〈スポーツ〉
スポーツを通じた健康で豊かな暮らしの実現

IV どだいづくり 3,810万円

〈環境・自然〉
公共施設の再エネ100%導入を調査・検討

財源

15億2,295万円

国庫支出金	9億5,448万円
（うち 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）	1億2,338万円）
県支出金	7,043万円
市債	660万円
繰入金	4億9,144万円

I 感染症の拡大防止と医療体制の整備

〈新型コロナウイルス感染症対策〉

PCR等検査費の追加

～保健衛生諸費～

事業費：9億5,932万円、財源：国 1/2

新型コロナウイルス感染症に係るPCR等検査の行政検査費を補正する。

補正前額	補正額	補正後額
7,844万円	9億5,932万円	10億3,776万円

【参考】検査件数・検査費の推移

年度	検査件数	検査費
R4 (見込)	151,200件	10億3,776万円
R3 (見込)	58,279件	4億2,461万円
R2	8,259件	5,220万円

(健康福祉部保健衛生課)

松江保健所の体制強化

～職員人件費（保健所）～

事業費：1億8,681万円、財源：下記のとおり

新型コロナウイルス感染症の拡大により、保健所の業務量が増大していることから、任期付職員を配置し体制強化を図る。

【配置人数】
40人

【主な業務内容】
・検査準備
・データ入力
・電話対応 など

【財源】
国：1億1,638万円
県：7,043万円



(健康福祉部健康福祉総務課)



I 感染症の拡大防止と医療体制の整備

〈新型コロナウイルス感染症対策〉

新型コロナウイルスワクチンの追加（4回目）接種に向けた体制の整備

～新型コロナウイルスワクチン接種体制

確保事業費・接種事業費～

事業費：3億514万円、財源：国10/10



新型コロナウイルス感染症発症時の重症化予防を目的とした4回目接種を実施するための体制整備を行う。

○接種対象者

3回目接種完了から5か月が経過し、①または②に該当する人（約6万8千人）

① 60歳以上の人

② 18歳から59歳で基礎疾患を有する人その他重症化リスクが高いと医師が認める人

○接種場所

・ 集団接種 . . . ① くにびきメッセ および 松江市立病院がんセンター

② 支所管内（鹿島・島根・美保関・八雲）

・ 個別接種 . . . ① 高齢者施設など

② 松江市内の各病院・診療所

○スケジュール

5月31日から接種券発送



II 地域の伝統文化や文化芸術を守り・伝える

〈新型コロナウイルス感染症対策〉

伝統文化芸術イベントの映像配信

新 ～文化力を生かしたまちづくり推進事業費～



事業費：700万円、財源：国10/10

本市が誇る伝統文化や文化芸術にかかるイベントのうち、数年に一度開催される下記3イベントについて、新型コロナウイルス感染症の影響により来場できない観客などを対象とする映像配信を行うとともに、市内外に広く情報発信を行う。

神座（かむくら）

佐陀神能が世界ユネスコ無形文化遺産に登録されてから10周年を迎えたことを記念して、県内外から神楽団体を迎えて開催する。

開催日：令和4年10月上旬
会場：佐太神社



松江・森の演劇祭

国内外から劇団等を招聘し、世界の多様な創造的表現に触れ演劇の楽しさ、深さと感動を味わえる場を提供する。

開催日：令和4年11月上～中旬
会場：しいの実シアター周辺



伝統芸能祭

松江の伝統芸能が一堂に会し、その魅力や良さを市内外の人に広く発信する。

開催日：令和5年3月中旬
会場：松江テルサ テルサホール



(文化スポーツ部文化振興課)

Ⅲ つながりづくり

〈スポーツ〉

スポーツを通じた健康で豊かな暮らしの実現

◎新 ～中海スポーツパーク整備事業費～



事業費：2,658万円、財源：下記のとおり

市民がスポーツに親しむことのできる多目的広場として、人工芝グラウンド整備やクレー舗装などを行い、市民のスポーツ振興、健康づくりを推進するとともに、中海周辺地域の活性化を図る。

○施設概要 人工芝グラウンド、照明設備
駐車場、クレー舗装など

○整備予定地 上宇部尾町

○事業期間 令和4年度～令和6年度
R4：実施設計、R5～6：工事

○総事業費（予定） 約9億円

○R4事業費		2,658万円
（財源）	国（2/3）	1,772万円
	市債	660万円



〈整備案イメージ〉

IV どだいづくり

〈環境・自然〉

公共施設の再エネ100%導入を調査・検討

新 ～再生可能エネルギー・地産地消モデル構築調査事業費～ 事業費：3,810万円、財源：国3/4



松江市での「脱炭素ドミノ」を目指し、公共施設の使用電力を全量再生可能エネルギーとするための仕組みづくりを、環境エネルギー部所管施設で先行して調査・検討する。

【STEP1】 環境エネルギー部所管施設の使用電力を再生可能エネルギー100%化

- ★ 建物屋根への**太陽光発電**の導入（オンサイトPPA）
- ★ **蓄電池**を併用



川向リサイクルプラザ 西持田リサイクルプラザ



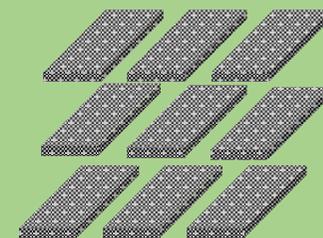
西持田最終処分場 西持田不燃物処理場

- ★ 溶融処理熱による**バイオマス発電**
水草・林地残材等を活用して
バイオマス比率を向上させる。



ごみ処理施設「エコクリーン松江」

- ★ 廃止した廃棄物処分場跡地への**太陽光発電**の導入（オフサイトPPA）
- ★ **蓄電池**を併用



得られた
再エネ電力を
施設で活用

将来的には…

【STEP2】
他の市有施設の再エネ100%化
（市庁舎・文教施設・福祉施設など）

【STEP3】
再エネ電力の使用を民間にも波及
（商業施設・会社社屋など）

脱炭素
ドミノ

（環境エネルギー部環境エネルギー課）